

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	933	市営住宅維持補修事業	会計	01	一般会計
基本施策	30	伊賀市らしい住まいと居住環境を創造する	款	08	土木費
担当部課名	阿山支所 産業建設課		項	05	住宅費
作成者氏名	服部 伊久夫	連絡先	目	01	住宅管理費
		43-1544	細目	101	住宅維持管理経費
			細々目	02	市営住宅維持補修事業

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	支所管内市営住宅の維持補修を行う。	市営住宅の安全で安心快適な居住環境を確保する。
本年度事業内容	建物の維持修繕工事	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 民間委託等 (委託先:)	根拠法令・要綱等
市内の類似施設		

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.01	0.01	0.01
	人件費合計(A)	72	72	72
	②支出内訳(千円)			
	事業費(B)	435	459	460
	需用費	409	409	410
	原材料	0	50	50
	備品購入費	26		
	その他			
合計(A+B)		507	531	532
③財源内訳(千円)	特定財源	国県支出金		
		地方債		
		受益者負担		
		その他特財		
	一般財源	507	531	532
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
維持修繕	件	4					

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
入居率	施設を通常使用できる状態に保ち、市民の利用に供する。	%	目標 ()		
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化等及び事業の改善点等

市営住宅建築後年数が経ち施設の老朽化が著しく修繕が多くなっている。

評価	必要性	4	老朽化の著しい団地(住宅)の取壊しをはかる。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		